

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公表番号】特表 2005-521501 (P2005-521501A)

【公表日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2005-028

【出願番号】特願 2003-581122 (P2003-581122)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 8/08 (2006.01)

G 0 6 T 7/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 3 5

A 6 1 B 6/00 3 3 1 A

A 6 1 B 8/08

G 0 6 T 7/20 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 29 日 (2006.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 動き信号及び第 2 動き信号により動いている対象物の画像シーケンスからの基準画像について対応する画像を決定する方法であって：

前記第 1 動き信号及び前記第 2 動き信号は、前記対象物の第 1 動き及び第 2 動きの状態に調子を合わせたそれぞれの変化を表し；

前記画像シーケンスは、動きの状態の画像シーケンスとして前記対象物の前記第 1 動きを表し；

前記基準画像は第 2 の対象物の動きから動きの状態を表し、前記対象物の前記第 2 動きの間の基準の瞬間に捕捉される；

方法であり、

前記第 1 動き信号及び前記第 2 動き信号の類似性比較としての類似性関数を決定する段階；

前記類似性関数により前記第 1 動き信号における対応瞬間を決定する段階であって、前記対応瞬間は前記第 2 動き信号からの前記基準画像の捕捉瞬間に対応する、段階；並びに

前記第 1 動き信号を用いて、捕捉瞬間が少なくとも前記対応瞬間に略対応する画像シーケンスの画像を決定する段階；

を有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、前記類似性関数は、所謂、動的タイムワーピング方法により得られる、ことを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法であって、補間画像は前記対応する画像から生成され、更なる画像は前記画像シーケンスから生成され、その補間画像は少なくとも実質的に前記対応瞬間の前記対象物の動きの状態を表す、ことを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法であって、前記第 1 動き信号及び前記第 2 動き信号は心電図信号を生成し、前記画像シーケンスの前記画像及び前記基準画像は人間又は動物の心臓の動きの状態を表す、ことを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の方法であって、前記心臓の血管は、前記画像シーケンスの画像又は前記基準画像のコントラスト媒体で少なくとも一部を満たされている、ことを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法であって、前記画像シーケンスは X 線画像シーケンスを生成し、及び / 又は、前記基準画像は X 線画像を生成する、ことを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法であって、前記画像シーケンス及び / 又は前記基準画像は超音波画像を生成する、ことを特徴とする方法。

【請求項 8】

第 1 動き信号及び第 2 動き信号により画像シーケンスから基準画像のための動いている対象物の対応する画像を決定するためのデータ処理ユニットを有するシステムであって、請求項 1 に記載の方法を実行するために配置されている、ことを特徴とするデータ処理ユニット。

【請求項 9】

心電図信号の検出のための手段及び X 線画像検出器を有する検査装置であって、請求項 8 に記載のシステムを有する、ことを特徴とする検査装置。

【請求項 10】

データ処理ユニットが請求項 1 に記載の方法を実行することができるような方法で、前記データ処理ユニットと協働するように配置されているコンピュータプログラム。